

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第1回阿賀野市下水道審議会

2 開催日時

令和6年8月29日（木曜日） 午後1時30分から午後3時00分まで

3 開催場所

阿賀野市上下水道局 3階 大会議室

4 出席者（傍聴者を除く）の氏名（敬称略）

・出席委員： 小嶋貴子、漆山栄子、西潟隆、矢口益巳（副会長）、陸順子、岡部直史、
天野美三男、清田仁（代理：小田徳貴）、坂井裕通、東海林晃、長谷川学、
高橋信久、羽田庄一、市川英敏（会長）、原勝則

・欠席委員： なし
（委員15人中 15人出席）

・事務局： 高橋上下水道局長、倉島下水道次長、浜崎下水道次長補佐、山本下水道建
設係長、小内下水道管理係長、弦巻下水道管理係主任 （計6人）

5 議題（公開・非公開の別）

（1）阿賀野市下水道審議会会長、副会長の選任について（公開）

審議事項（公開・非公開の別）

（1）阿賀野市下水道事業経営戦略の改定について（諮問及び説明）（公開）

（2）その他報告等

①下水道整備事業について（公開）

②下水道事業に係る条例・規則等の改正について（公開）

6 非公開の理由

なし

7 傍聴者の数

2名

8 発言の内容 (○印は概要表示)

事務局 ○令和6年度第1回阿賀野市下水道審議会開会を告げ、改選後、初めての審議会であるため、会長及び副会長が選任されるまでの間、事務局で進行する。

【市長あいさつ】

皆さん、こんにちは。

ただ今、ご紹介いただきました阿賀野市長の加藤でございます。

よろしくお願いいたします。

令和6年度阿賀野市下水道審議会の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日、ご出席いただきました委員の皆様方におかれましては、この度の委員の改選にあたりまして、ご就任のお願いをさせていただいたところですが、快く皆様方からお引き受けいただき厚く御礼申し上げます。

また、本日の審議会開催にあたりましては、大変お忙しい中、皆様方からご参集いただきましたこと、併せまして心より御礼申し上げる次第でございます。

この審議会開催につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、令和3年度から書面で開催いたしておりました。対面での開催は4年ぶりとなります。

本審議会とは、阿賀野市におきます下水道行政の根幹をなすものでありまして、重要事項についてご審議をいただき、委員の皆様方からいただいたご意見を頂戴することによりまして、下水道行政に反映させていく、こういうことが大切な会議になっております。

本日は、ご審議願う「阿賀野市下水道事業経営戦略の改定」につきまして、諮問という形を取らせていただいております。

令和元年度に策定いたしました経営戦略ですが、少なくとも5年毎の見直しが求められております。国の補助金の交付要件となっていることから、今年度改定するものでございます。

また、本市の下水道事業につきましては、水洗化率は向上しておりますけれども、急速な人口減少、これに伴いましてサービス需要の減少や今後、施設の老朽化に伴う更新需要の増大を見据えまして、下水道事業経営戦略を見直し、中長期的な、さらに安定かつ健全な事業運営を目指していくこととしております。

このことを踏まえまして、本日、委員の皆様方からのご意見を経営戦略の改定に反映させたいと考えております。

結びに、下水道施設は、安全・安心で快適な暮らしを営んでいくうえで、大切な財産でありますし、公共用水域の水質保全や生活環境改善はもちろんのこと、未来を担う子どもたちに対しまして豊かな水環境を残

すことは私どもの責務であると考えております。

引き続き市としましても、下水道事業の適正かつ能率的な経営を行って参りたいとおもっております。委員の皆様方からは、忌憚のないご意見とご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、開会のあいさつとさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

事務局

○改選後初めての審議会であるため、事務局から委員を紹介する。

＝住民代表、市議会議員、識見者、関係行政機関の順に紹介＝

○事務局職員の紹介

○本審議会が規定により傍聴が可能であること、及び議事録は市のホームページで公開することなどの承諾を求める。

○配布資料の確認

1. 令和6年度第1回阿賀野市下水道審議会 次第
2. 阿賀野市下水道審議会 委員名簿
3. 令和6年度第1回阿賀野市下水道審議会 座席表
4. 下水道審議会資料 阿賀野市下水道事業経営戦略の改定について
5. 報告① 下水道整備事業について
6. 報告② 下水道事業に係る条例・規則の改正について

議題（１）阿賀野市下水道審議会会長・副会長の選任について

事務局

○議題に入り、次第3「阿賀野市下水道審議会会長・副会長の選任について」、阿賀野市下水道審議会条例第4条1項の規定により、委員の中から互選することになっているため、選任についてお伺いした。

○委員から「事務局一任」との発言があり、次のとおり提案し、拍手をもって了承いただいた。

会長 阿賀野川土地改良区 理事長 市川英敏 様
副会長 住民代表 矢口益巳 様

○市川委員、矢口委員にそれぞれ会長、副会長に選任されたことを告げる。

＝ 会長・副会長の席に移動 ＝

会長 ただ今ご紹介いただきました、阿賀野川土地改良区の市川でございます。皆様からのご協力をいただきながら円滑かつスムーズに運営、進行したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

副会長 笹神地区の矢口といいます。副会長の任を拝命いたしました。任期中よろしくお願いいたします。

審議事項（１） 阿賀野市下水道事業経営戦略の改定について

事務局 ○「阿賀野市下水道事業経営戦略の改定について」諮問するよう市長に
 お願いする。

市長 ○「阿賀野市下水道事業経営戦略の改定について」に関する「諮問書」
 を読み上げた後、会長へ手渡す。

事務局 ○市長が公務の都合で退席することを告げ、市長は退席する。
 ＝ 市長退席 ＝

会長 ただ今、諮問をお受けしたところでございますが、この阿賀野市下水道事業経営戦略の改定については、下水道事業の事業運営計画として重要な戦略であるため、慎重に審議していただきたいと思っております。

 それでは、審議事項（１）阿賀野市下水道事業経営戦略の改定について事務局の説明を求めます。

事務局 ○審議事項（１）阿賀野市下水道事業経営戦略の改定について説明。
 資料４を使用して説明。

会長 ○事務局からの説明が終わり、１０分間の休憩に入ることを告げる。
 【 休憩 午後２時２０分から午後２時３０まで 】

会長 それでは休憩前に引き続き、会議を再開いたします。先程の説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

委員 私は、この度初めての審議委員ということで、下水道についてはよく知らないのですが、事務局の方から財政状況などの説明があり、それによると普及率は１００％近くまでいっているのに、接続率が低いということで財政的に厳しい。また、これから整備後５０年の耐用年数がきて改築するためにも財政的に厳しく、価格改定をしたいという説明にしか聞こえなかった。その通りだとは思いますが、５年ごとに価格改定をするにしても審議会で５年に一度という決まりがあるのでしょうか。

事務局 5年に一度使用料改定をするということではなく、計画を改定することです。具体的には、国交省としては「いつ、どんなことをやるのか」、例えば、「経費を下げた経費回収率を100%にする」であるとか、その反対に「使用料を上げて経費回収率を100%にして経営を改善していく」という目標を掲げてくださいということです。

今回、この経営戦略を改定するにあたり、経費の節減、使用料の増を含めて試算をいたします。シミュレーションという形になりますが、皆様にご提示させていただいて経営改善を進めることでよろしいか、また、そうではなく、使用料改定よりも一般会計からの繰出金という考え方もあるかもしれません。そういったことも含めて様々なシミュレーションを行いますので、ご理解いただいたとき、審議していただくというようなことを次回の審議会で予定しています。

委員 使用料を上げるだけではなく他の方法があるのかなのか、それを審議して、上げなければならないのであれば、使用料の上げ幅を審議するという理解でよろしいでしょうか。

事務局 そのとおりです。我々で詳細に収支の試算をして、それを提示し、審議していただくということになります。

委員 わかりました。最初から説明を聞いていて、使用料の値上げの資料ばかりだなと思っていました。要するに接続率を上げるための方策、他市町村からみれば使用料は安いという数字が出ていますので、その辺も踏まえて協議していったらいいと思います。

もう一点聞きたいのが、投資以外の経費の試算ということで、資料4ページですが、広域化（集排廃止）の効果額の反映とありますが、安田地区の話でしょうか。

事務局 安田地区の公共下水道（浄化センター）につきましては、汚水の処理量がまだ多く、流域下水道へ接続するには処理量が多い段階です。また、流域下水道との協議が定まっていませんので、まだ時間がかかると思われます。

また、資料に広域化、集排廃止とありますが、これについては、今年度4月1日に大和地区農業集落排水施設を廃止した効果や将来の費用を見積もっておりませんので、今後報告させていただくことになります。

委員 廃止することによって、少なくとも費用は抑えられるということですね。

事務局 そうです。

委員 ありがとうございます。

会長 ほかにご質問等、ご意見はございませんでしょうか。

委員 資料 20 ページの過去の質問で、使用料単価について、まずは 150 円／ m^3 に改定すべきとの質問があり回答も書いてあるが、150 円／ m^3 にした場合に収支がどのようなになるのか、シミュレーションをやっているのでしょうか。

また、使用料改定以外にこういうところを見直した方がいいのではないかなどの考えがあると思いますが、その辺をお聞かせいただきたい。

事務局 まず、150 円／ m^3 という金額の水準ですが、これは国交省から要請されている数字で、かなり前の平成 10 年代後半頃から言われている金額で、一般家庭一世帯当たり（20 m^3 ）3,000 円が適正な額ではないだろうと言われていました。単価の平均になりますが、仮に 150 円／ m^3 の水準にいたしますと、資料 12 ページに 150 円／ m^3 にした場合 17.8 円不足しておりまして、約 5 千 8 百万円増収するシミュレーションにはなっております。

もう一つのご質問ですが、使用料改定以外に何か方法はないかとのことですが、先ほどもお答えさせていただきましたが、農業集落排水施設を廃止した効果については、まだ試算しておりません。これで収支均衡まではいかないと思いますが、試算いたしまして皆様に審議いただければと思います。また、それほどの減少は見込めませんが、職員数の検証をすることも一つの案と考えております。あとは接続促進を行いまして、できるだけ接続率を上げ、少しでも増収できないかといった努力を行います。

委員 農業集落排水の広域化、流域下水道に接続、という話は大分前から言っていた話ですね。今このように回答されるというのはちょっと疑問に思います。

事務局 そのとおりでございまして、農業集落排水施設の廃止というのは以前から継続して行っており、その結果、今年度すべての農業集落排水施設が統合されたということです。しかしながら、詳細な収支の試算を今までやっておりませんでした。これについても、この度試算を行い、状況がどうなるか結果をお示しさせていただく予定です。

委員 諮問の話とは関係ないかもしれませんが、安田浄化センターが流域下水道に接続されるという話ですが、今回、輪島の地震を見て、もし阿賀野市で同じような状況になった場合、流域下水道までの管渠が長すぎてどうなるのかと感じました。それ考えると、安田浄化センターを逆に残しておいた方が（地震の際）に使えるのではないかと感じ、考えました。

- 事務局 安田の公共下水道の流域への接続というのは、令和４年度の県の計画に「その後３０年の間に統廃合を進める。」と示されたものです。私共としても、今すぐにそれをできるかということは考えておりません。しかし、長期的に考えていかなければならない案件ですので、その際には、先程のご意見なども加味しながら検討していきたいと思います。
- 委員 いかに収益を上げるかという話になるかと思いますが、上下水道局ですから、下水道も含めた形で上水道の方も収益を上げていくということも考えればと思いますが、そういったことを上下水道局長の立場で意見ございますか。
- 事務局 私個人の意見になりますが、水道の方は成熟した事業でありますので、資金の方も下水道と比較をしますと有しております。下水道で資金のなくなる時期には、水道の方で一時貸付といったことを行っております。
- ただ、残念ながら法的に事業が違いますので、それをひとくくりにして経営をするということは認められておりません。
- 委員 下水道が通った時に、１年目がいくら、２年目がいくら、３年目いくらかといった補助金があったと思います。現在はどうなっていますか。
- 事務局 それについては、今も変わっておりません。
- 委員 一定の期間が過ぎれば、全額自己負担ということでしょうか。
- 事務局 ４年目以降の下水道の補助金はございません。
- しかし、下水道の補助金以外に建設課の住宅リフォーム補助金というものがあります、これは、下水道接続を水回りの住宅リフォームとセットで工事した場合に補助金の対象となります。
- 委員 わかりました。皆さんに広報などを通じて周知できるような方法、例えば建築関係の方をお願いするのもいいと思います。そういった周知について、広報などを通じて補助金のことをお知らせするという方法もいいと思います。
- 会長 他に何かありませんか。
- 委員 様々な状況を変えながらシミュレーションをしていますが、資料（６）（７）収支状況の表ですけれども、例えば最終的に収益の表のどの部分をプラスにするとかゼロにするとか、最終的な目標みたいなものというのは、端的に言うとかどの数字をどうしたいと考えていますか。

事務局 まず上げたいものは資料（６）の料金収入です。これは接続率を伸ばす、それからシミュレーションする段階でございますけども、平均単価（使用料単価）を上げるというようなことでございます。最終的には資料（７）の基準外繰入金を減少させ、ゼロにしたいと考えております。その中で、運転資金であります資料（６）下段「補てん財源」、これを留保させるというようなことができれば独立採算ができていくことになります。公営企業の基本の「独立採算制」ということが目標になります。

会長 他にご質問等ございませんでしょうか。

質問がないようですので、審議事項（２）その他報告等について、事務局の説明を求めます。

審議事項（２）その他報告等について

事務局 ○①下水道整備事業について報告…資料５

○②下水道事業に係る条例・規則等の改正について報告…資料６

会長 ただ今の件について、ご質問ございませんでしょうか。

質問がないようですので、事務局からその他、何かありますか。

事務局 ○事務連絡を行う。

事務局 先ほど、「何を指すのか。」とご質問頂戴いたしました。これにつきまして回答いたしましたのは、最終的な公営企業としての目標を申し上げました。この度の改定では、国交省が経費回収率の向上を目指すということで、１００％になるにはどうなればいいのか、どうすれば１００％になるのかといったシミュレーションを先ずは行いまして、最終的なものは先ほど回答したところでございます。

会長 何か他にご意見等ございましたらお願いいたします。

ないようでしたら、以上を持ちまして、令和６年度第１回阿賀野市下水道審議会を、終了させていただきます。

長時間に渡り、ご協力いただき大変ありがとうございました。

＝ 審議会終了 ＝

事務局 ○令和６年度第１回阿賀野市下水道審議会閉会を告げる。

＝ 終了（午後３時００分） ＝

９ 問い合わせ先 産業建設部上下水道局 下水道管理係 TEL：0250-62-2833

E-mail：gesuido@city.agano.niigata.jp